

ふかがわ 社協だより

令和8年

2月

第137号

表紙 児童センタークリスマス会
(12月24日・25日)

クリスマスに関するクイズや砂絵アート作製、まちがいさがしなどを通じて季節行事を楽しむとともに、子どもたちが楽しみながら交流を深める機会となりました。



CONTENTS

新年のごあいさつ	2
生活支援コーディネーター通信	3
社協の介護サービス事業所のご紹介	6
教養講座に参加しませんか	7
児童センター通信	8

特集 社協が目指す
「誰もが支えながら安心して
暮らすことができる福祉のまちづくり」
4-5

編集・発行

社会福祉法人 深川市社会福祉協議会

深川市3条18番36号 総合福祉センター内

電話 26-2411 FAX 22-1443

ホームページ <https://fukagawa-shakyo.jp/>



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています

新年のごあいさつ

社会福祉法人深川市社会福祉協議会

会長 三ツ井 隆 博



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃より社会福祉協議会の運営並びに各種の地域福祉活動やボランティア活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

少子高齢化・人口減少が加速化し、様々な影響が表出しています。これまで当たり前にあったものが無くなったたり、出来なくなったりしています。なかでも昨年二月の市内短期大学閉校の報道は大変ショックでした。

介護福祉においても、人手不足と経営難により全国で介護事業所の休廃止が急増し、倒産件数は過去最多となり、特に訪問介護事業所は二三年から三年連続で最多を更新しています。介護職員は四〇年度に五七万人不足すると見込まれる中、二三年度から減少に転じ深刻さを増しています。

道内の社会福祉協議会においても介護保険事業は多くが赤字になっており、休廃止や事業縮小を検討しているところも少なくありません。これは深川・北空知の事業所でも同様であり、いつ「介護難民」が発生してもおかしくない状況にあります。もはや一事業所で解決することは困難であり、深川市はもとより北空知広域であらゆる対策に協働して取り組む必要があります。

こうした窮状を関係団体等で国に訴え続けてきましたが、ようやく昨年暮れに国の補正予算や新年度予算に、十分とは言えない難いものの介護報酬の臨時改定や事業所支援が盛り込まれることになりました。本協議会を含め一定の改善につながるものと期待しております。

さて、本協議会の経営も引き続き厳しい状況にあります。人口減により会費・寄付金収入は漸減しており、収入の大半を占める補助金・委託料も人件費や物価高騰などの経費増に対応するものになっていません。皆様に



●「深川市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書」締結式の様子

は引き続き賛助会費、寄付金・共同募金等へのご協力をお願いするとともに、ヘルパーなど不足する職員の確保についてもご協力をお願いします。

先行き不透明で不確実な時代、人間関係の希薄化、社会的孤立や生活困窮、介護や子育てに対する不安など、地域の福祉課題が複雑・多様化しております。こうした課題に対して、地域の皆様と一緒に考えながら解決に向けて取り組むのが地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の役割であります。

本協議会では、昨年も職場環境や事務事業の改善に努め、教養講座や研修会等を毎月開催し、多くの市民に参加いただいたほか、児童センターも常勤職員が確保でき賑やかになっています。子ども未来食堂は十二月に開設一周年を迎え、月二回の朝食提供のほか昼食特別バージョンも開催されるなど、ボランティアや食材等の寄付も広がっています。ぜひご利用ください。

また、新たに法人後見事業に取り組むとともに、暮れには懸案であった「災害ボランティアセンター」の設置・運営等について、深川市と協定書を締結し、災害時に緊急対応活動ができるよう体制整備に取り組んでおります。

二六年度は、「地域福祉実践計画」および「経営改善計画」の四年目、最終年度となります。「市民に信頼される持続可能な法人運営の基盤づくり」を進めながら、計画の基本理念である「お互いさまの心や気持ちにつながるまちづくり」の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様にとって幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



私たちがみなさんの支え合い活動を応援します

生活支援体制整備事業

深川市社会福祉協議会は、深川市と連携して、いつまでも住み慣れた深川で暮らし続けることができるよう、地域の皆さんと力を合わせて生活を支える仕組みづくりに取り組んでいます。その推進役として、2名の「生活支援コーディネーター＝SC」が、地域の支え合い活動を発見・応援し、他の地域にも広げる活動を進めています。
地域のみなさまからの情報をぜひ、お待ちしております！



佐藤SC

みなさんが高齢になっても、住み慣れた深川市で暮らしていけるように、全力でサポートします！

それぞれができることを持ち寄り、協力して、「お互いさまの心がつながるまち」にしましょう！



古西SC

つながりづくり

- ・顔が見える関係
- ・いつでも相談できる
- ・無理なく関われる

地域づくり

- ・まわりは顔見知り
- ・地域の力を活かせる
- ・安心して暮らせる

人づくり

- ・担い手の育成と確保
- ・できることを活かせる
- ・広い世代の支え合い

令和7年度 モデル地区での取り組み

生活支援コーディネーターの活動から

前号でもご紹介しましたモデル地区（あけぼの）の「買い物ツアー」の企画から、地域づくりにつながった今年度の取り組みについて、地域のみなさんと生活支援コーディネーターのこれまでの活動をまとめました。

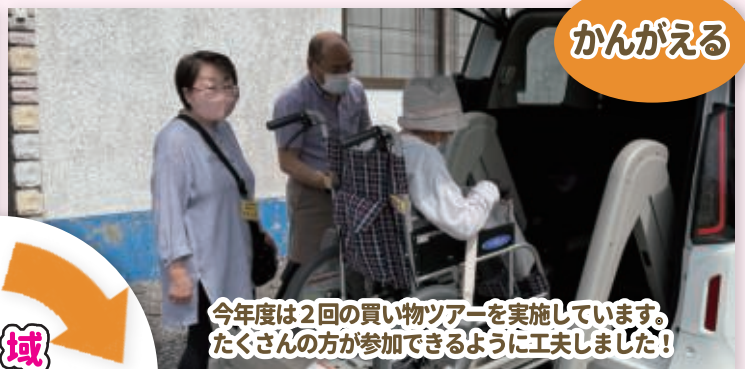
つたえる

あけぼのでの取り組みを他の地域の方にも知ってほしい…10月30日に開催された「住民フェスタ」で、これまでの取り組みを紹介しました。



かんがえる

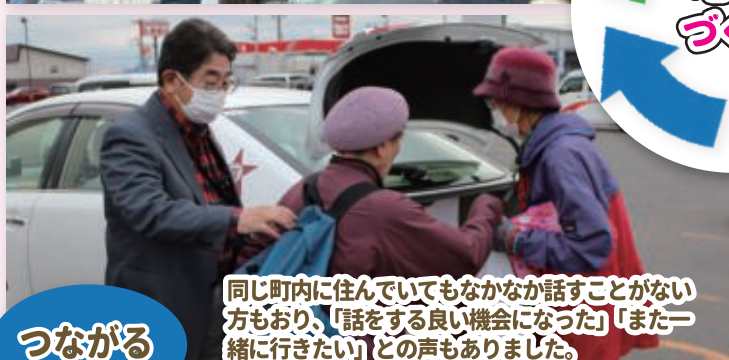
今年度は2回の買い物ツアーを実施しています。たくさんの方が参加できるように工夫しました！



地域づくり

つながる

同じ町内に住んでいてもなかなか話することがない方もおり、「話をする良い機会になった」「また一緒にいきたい」との声もありました。



行き帰りの送迎、手の届かない商品や重い商品の持ち運びを参加者が手伝いました！



ささえあう

認知症サポーター養成講座



認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の方やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で手助けをする人の養成を目的としています。

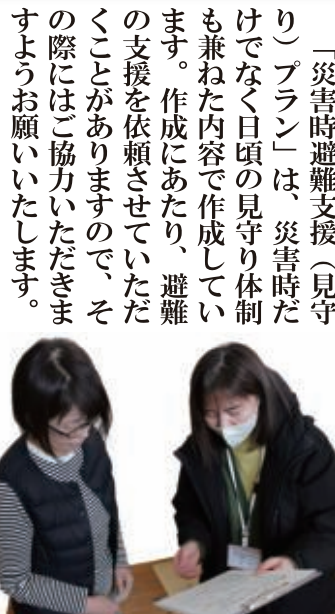
本会では、深川市の委託を受け、認知症サポーターの養成を行っており、これまで、延べ四千人を超える方々に受講いただいています。地域の方々をはじめ、職場や学校単位での開催も広がってきています。

講座の時間は90分程度で、受講料は無料です。本会へお申し込みください。

受講された方には、テキスト・オレンジリング・サポーター登録証をお渡ししています。



地域見守りネットワークづくり事業



「災害時避難支援（見守り）プラン」は、災害時だけでなく日頃の見守り体制も兼ねた内容で作成しています。作成にあたり、避難の支援を依頼させていただくことがありますので、その際にはご協力いただきますようお願いいたします。

地域の民生委員さんや近所の方々のご協力をいただき、個別に聞き取り調査を行い、プランを作成します。災害時に備えて、近所の方などに無理のない範囲で避難の支援（災害情報の伝達や避難所までの移動の手助けなど）をお願いしています。日頃からの近所の声かけや見守りなどの『つながり』が、災害時に大きな支えとなります。



本会では、深川市の委託を受けて、災害が発生したときに自力で避難することが難しい方（高齢者や障がいのある方など）を対象に、「災害時個別避難支援（見守り）プラン」を作成しています。



災害時の備えと日頃からのつながり

認知症サポーター・チームオレンジに向けた活動

認知症サポーター・深川市高齢者支援課・本会で協働し、認知症の方やその家族を地域全体で支援する仕組みである「チームオレンジ（右図）」の取り組みを進めています。

今年度は、市内のグループホーム「優和の郷・信」に入居されている方々とお散歩をしたり、レクリエーションを実施し、交流を深めました。今後も関係機関と連携し、認知症になっても安心して暮らすことができる体制づくりに努めます。



生活介護支援サポーター

生活介護支援サポーター活動の流れ

生活介護支援サポーターの活動には、お互いさまの心や気持ちがつながるまちづくり

生活介護支援サポーター利用のご案内

生活の中にある「ちょっとした困りごと」... その困りごとを乗り越え、できないことを補う有償の交流会い活動です。

社会福祉法人 深川市社会福祉協議会
電話 0164-26-2411
（受付時間 午前9時～午後5時 認知症センター内）

詳しい内容をまとめたパンフレットもあります。ご希望の方は、お問い合わせください。

利用を希望される方は、本会（介護認定を受けている方は担当のケアマネジャー）までご相談ください。利用料金はサポーターごとに一回五〇〇円です。別途、交通機関を利用した場合にはその費用もご負担いただきます。



生活の中にある「ちょっとした困りごと」に寄り添い、できないことを補い合う地域の方々による有償の交流会い活動です。活動に特別な資格などは必要ありません。

本会で年一回開催する養成講座を受講し、登録していただいた方が活動しています。

「ちょっとした困りごと」と「自分ができること」でなければ、を橋渡しし

●養成講座の様子

介護予防ふれあいサロン

みんながつながる地域の「ふれあいの場」

介護予防ふれあいサロンのご案内

「ふれあいの場」は、地域住民が集まり、交流を深め、健康を維持するための場です。

だれが？ どこで？ なにを？

サロンにはどんな場があるの？

～お互いさまの心や気持ちがつながるまちづくり～

社会福祉法人 深川市社会福祉協議会
認知症センター内
〒570-0001 大阪府茨木市南茨木1-1-1
TEL 0164-26-2411
FAX 0164-26-2412



- サロン 水車の里
- 設立 令和7年4月1日
 - 開催日 不定期（年12回以上開催）
 - 会場 音江第3A会館
 - 内容 健康体操、清掃活動、茶話会



- 音江スズバラの会
- 設立 令和7年7月2日
 - 開催日 毎月第1・第3金曜日
 - 会場 音江公民館
 - 内容 健康体操、モルック

今年度、音江地区で新たに二つの集いの場が誕生しましたので、紹介させていただきます。

また、新たにパンフレット「介護予防ふれあいサロンのご案内」を作成しましたので、地域交流を深める場所づくりに興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

お知らせ

万が一に備えて

ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中のご自身のケガ、あるいは他人にケガをさせた場合や他人の物を壊した場合の賠償責任などの補償を受けることができます。

- 加入できる方 ボランティアセンターに登録しているボランティア個人もしくは団体
- 補償期間 毎年4月1日～3月31日
※年度途中から加入の場合は加入手続き完了の翌日から補償期間となります
- 保険料 ・基本プラン 350円
・天災・地震保証プラン 500円

深川市 社協 ホームページ ご覧ください

ホームページでも各種講座や事業などの情報を随時更新しています。社協だよりのバックナンバーも掲載しておりますのでぜひご覧ください。

深川市社会福祉協議会

ホームページはこちらのURLまたはQRコードから閲覧いただけます

<https://fukagawa-shakyo.jp/>

ホームヘルプサービス事業所

深川市社会福祉協議会ホームヘルプサービス事業所では、介護保険や障がい福祉サービスの利用者が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）をしています。

当事業所には現在22名のホームヘルパーが在籍し、サービスの提供を行っています。また、事業所内のスペースを活用して介護福祉士の受験対策の研修も開催できるようにしています。

深川市内はもとより、近隣の町からも受講しやすい環境づくりを目指しています。

市内在住の方には、深川市介護人材育成研修等事業の助成金も利用できますので、ご興味がある方は、お気軽にご連絡ください。

ホームヘルパーの活動から

利用されている方の自立支援をめざして

今回は利用者さんのご協力をいただき、実際の訪問活動の様子を掲載します。写真の内容と実際の支援内容は異なりますので、予めご了承ください。



●利用者さんと一緒に洗濯物をたたみます

POINT

- ✓ 会話をしながらコミュニケーションをとります
- ✓ 自身でできることは、できるだけ続けていただきます
- ✓ 動きをよく観察し、異変が無いか確認します

パートヘルパーさん大募集

週1回からでも大丈夫です

【仕事内容】 買い物・調理・掃除・入浴など
 【勤務時間】 8時45分～働ける範囲で要相談
 【給与等】 実働時間+移動+事務処理+通勤手当+処遇改善（月3,000円）

（例）45分の訪問で、移動、記録時間を含めて1,652円（時間給+手当）です



●利用者さんと一緒に調理をします
 （利用者さんはサラダを混ぜています）

POINT

- ✓ 混ぜる・切るなど複数の動作を行うことで、機能の低下防止を図ります
- ✓ 一緒に相談しながら献立を考えることで、生活意欲の向上を図ります

居宅介護支援事業所

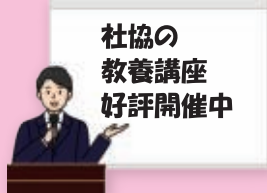
3人のケアマネジャーが常勤しています

住み慣れた場所で、その人らしい生活が続けられるように

介護を必要とする方が、住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けることができるよう、相手の方に寄り添った支援に努めています。

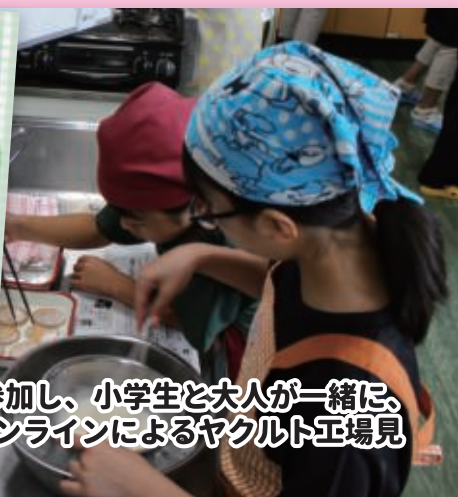
お困りごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。





教養講座に参加しませんか!

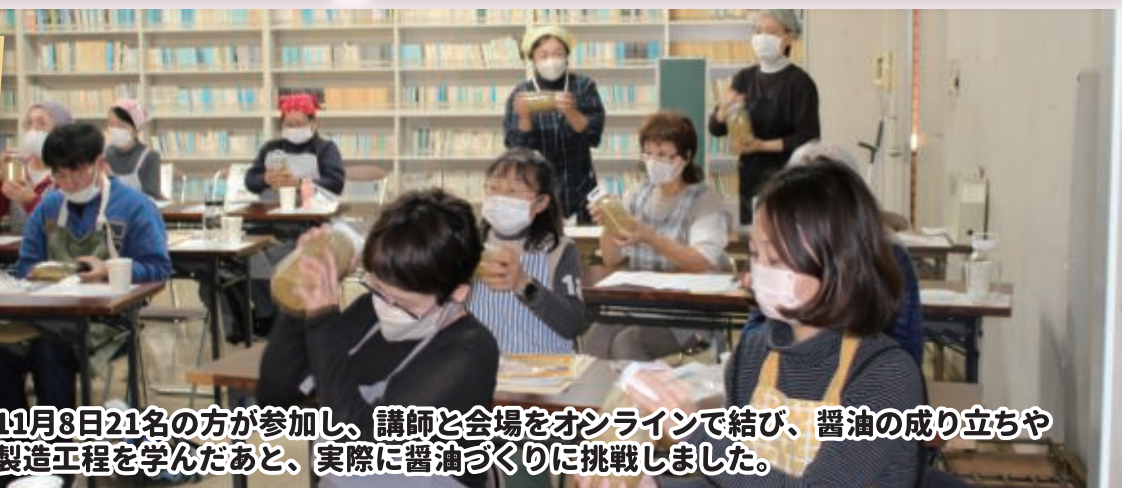
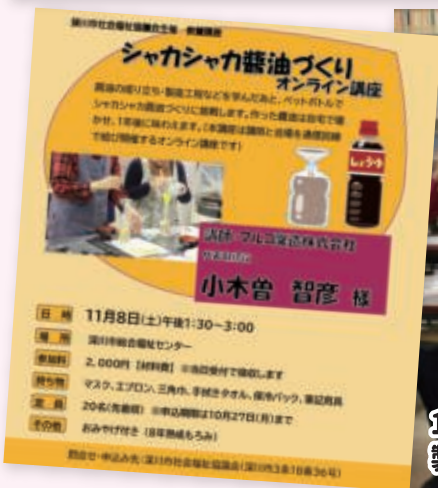
生活に役立つ様々な講座を開催しています。
本年度後半に開催した主な講座と、成年後見制度の出前講座を紹介します。



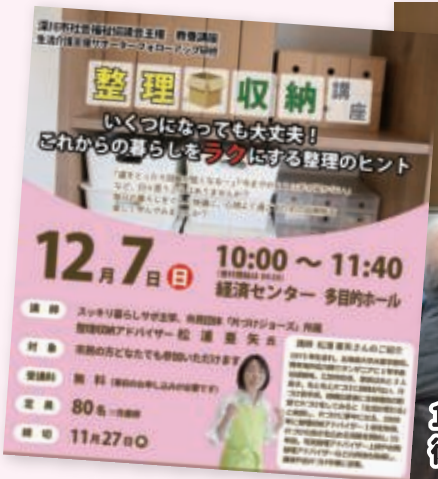
8月5日17名の方が参加し、小学生と大人と一緒に、
クッキング体験とオンラインによるヤクルト工場見
学を行いました。



9月27日23名の方が参加し、おなかの健康と美肌につ
いて、セルファマッサージの実践を交えながら学び
ました。



11月8日21名の方が参加し、講師と会場をオンラインで結び、醤油の成り立ちや
製造工程を学んだあと、実際に醤油づくりに挑戦しました。



12月7日65名の方が参加し、年齢を重ねても住み慣れた家で住み続けられる収納
術について、実習を交えながら学びました。

北空知成年後見相談センターからのお知らせ



後犬ちゃん
厚生労働省
成年後見マスコット
キャラクター

北空知成年後見相談センターでは、北空知1市4町の地域
において、成年後見制度についてお話をさせていただく、
「出前講座」を随時開催しております。
成年後見制度について、もう少し詳しく知りたいなどのご
希望がある場合は、ぜひご利用ください。

● 詳細・お問合せ先 北空知成年後見相談センター
深川市社会福祉協議会内 電話 (直通) 0164-22-2390

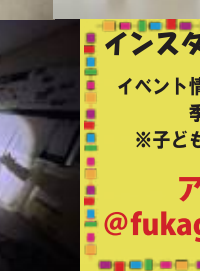
成年後見制度
出前講座を利用しませんか?



児童センター通信

児童センターでは、乳幼児(保護同伴)・小・中・高校生まで、だれでも自由に遊ぶことができます。
児童厚生員が常駐し、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに努めています。毎週土曜日には季節の行事や体を動かす遊び、工作など楽しいイベントを行っていますので、一度遊びに来てみてください♪

開館日 月曜日から土曜日
(日・祝日は休館)
開館時間 9時～12時
13時～17時



くらやみであそぼう！

Instagramフォローしてね！

イベント情報や児童センターにあるおもちゃ、季節の館内かざりを更新中！
※子どもたちの写真は投稿いたしません。

アカウント

@fukagawashijidosen



FUKAGAWASHIJIDosen

たのしいおもちゃがいっぱい！！



～「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」から～

マックスバリュ深川店等を経営するイオングループ北海道より、社会貢献活動「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」の一環として、児童センターにギフトカードをいただきました。いただいたギフトカードで、たくさんのおもちゃを揃えました。みなさんのお越しをお待ちしています。 ※イオン・デー（毎月11日）に発行される黄色いレシート1年分の1%相当額が団体に寄附される仕組みです。



子ども未来食堂 公式インスタ開設しました！



地元の食材を中心につくるご飯を提供しています。
★最新情報を随時発信★
ぜひフォローお願いします！

アカウント

@kodomo_miraishokudo_fukagawa

おかげさまで、子ども未来食堂は無事に一周年を迎えることができました。皆様のご支援とご協力に心より感謝いたします。たくさんのご参加ありがとうございました！

